

## 活動実績報告書

平成26年 4月14日

登録番号 20130994

氏 名 久保田 修

## 1. 活動状況

平成22年4月 ~ 平成25年3月

## ・活動の概要等

鹿児島、南薩、始良西部地域において、民有林・国有林が連携して森林整備を行う区域(鹿児島地域約900ha、南薩地域約2,100ha、始良西部約5,300ha)を設定し、効率的な路網の開設や間伐等を推進していくことを目的とする森林整備推進協定を締結しました。

協定では実施計画を定め、間伐の方法や間伐材の販売方法、事業に必要な路網等に関する事項を定めて、効率的な森林整備等を推進し、森林資源の循環利用等の促進、森林の持つ多面的機能の高度発揮を促し地域の森林・林業・木材産業の活性化に資することとしています。

森林整備推進協定は民・国が連携して森林整備等を行う森林共同施業団地を設定し効率的な路網の開設や間伐等を推進することにより地域の森林・林業・木材産業の活性化に資することを目的としており、地域の森林・林業の将来ビジョンを考え、ゾーニングを行うなど持続可能な森林経営を目指すことはフォレスターの活動と通じると考えています。

当該業務に従事した時は鹿児島森林管理署の流域管理調整官を担当しており、民有林と国有林及び、上流域と下流域が連携して森林の整備・保全や林業・木材産業の振興等に取り組む「森林の流域管理システム」の推進を図ることが主たる業務の1つであり、流域の民有林関係者及び署内職員とのパイプ役となり地域の森林・林業の再生に取り組む森林整備推進協定(森林共同施業団地の設定)の締結を行いました。

民有林、国有林は、それぞれが独自の図面を作成し使用しており、また、森林情報等の資料やデータも共有されていないことから、お互いが隣接する森林の現況や所有状況等を把握していないと共に間伐等の森林整備や路網等の計画は、それぞれが立案しています。このことから、即、現地で具体的な連携に取り組むことが容易ではなく問題点と課題の解消に向けて各種打合せや連携会議等を重ねました。

このことから国有林で実施している安定供給システム販売の実績をもとに、民有林材と国有林材の協調出荷を提案し、民有林材の販路を確保するとともに、間伐材の販売ロットの拡大を実現。一部の地域では森林組合による経営計画策定作業と並行し森林共同施業団地のエリア等を検討するなど、多数の民有林の集約化と経営計画策定に繋がりました。また、民・国連携した効率的な路網整備等の計画については市町村森林整備計画及び国有林の森林計画に反映させやすくなるなどの効果もありました。今後はそれぞれが持つGIS等を連携して活用し、民有林・国有林の長所を生かし改善に取り組み、現場での森林整備等が円滑かつ効率的に進むと共に地域の森林・林業が活性化するようにPDCAサイクルを活用して取り組みたいと思います。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

## 2. 研修の受講状況

研修名 准フォレスター研修 平成 23 年 8 月～11 月  
(実施主体) 林野庁

研修名 准フォレスター通信研修 平成 23 年 11 月～12 月  
(実施主体) 林野庁

研修名 フォレスター育成技術研修 平成 24 年 5 月、平成 25 年 5 月  
(実施主体) 森林技術総合研修所

## 3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・ 准フォレスター研修(24, 25年度)、森林官能力向上研修(24, 25年度)、生物多様性研修(25年度)に講師としての参加
- ・ 九州森林管理局広報誌へ鹿児島県フォレスター等活動推進連絡協議会の設立や研修報告会開催についての活動等を投稿
- ・ 鹿児島県フォレスター等活動推進連絡協議会の設立、研修報告会への参加
- ・ 九州森林管理局開催の准フォレスターフォローアップ研修(24年度)、准フォレスターフォローアップセミナー(25年度)への参加

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。